

統計から見た奈良県の1日

※☆は2021年、それ以外は2020年のデータ。

出生



21人

死亡



40人

婚姻



12組

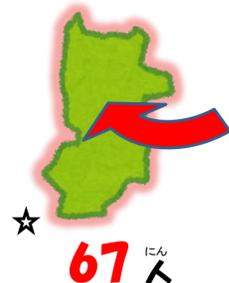
離婚



5組

転入

(奈良県内へ住所を移した人)



67人

転出

(他の都道府県へ住所を移した人)



70人

奈良県へ来た観光客



71,863人

奈良県のすごいところは何かな

ソックス出荷数 (足)

1位	奈良県	75,712,000
2位	兵庫県	24,411,000
3位	和歌山県	6,105,000
4位	長野県	6,023,000
5位	大阪府	2,993,000

調査時点: 2020年6月1日 (※1)

個人預金残高 (人口1人あたり) (円)

1位	東京都	9,103,381
2位	徳島県	4,951,528
3位	大阪府	4,842,227
4位	奈良県	4,522,583
5位	香川県	4,328,211

調査時点: (個人預金残高) 2021年3月末 (※2)
(人口) 2020年10月1日 (※3)

国宝・重要文化財指定件数 (件)

1位	東京都	3,121
2位	京都府	2,437
3位	奈良県	1,533
4位	滋賀県	883
5位	大阪府	745

調査時点: 2022年3月1日 (※4)

奈良県には世界遺産が3つもあるんだ!
東大寺大仏殿は、世界最大級の木造建築だよ!



【資料出所】
(※1) 経済産業省「工業統計調査」
(※2) 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金(国内銀行)」
(※3) 総務省統計局「人口推計」
(※4) 文化庁「国法・重要文化財都道府県別指定件数一覧」

わたしたちの奈良県 令和4年度

奈良県はどんな県なのかな



奈良県は、日本列島のほぼ真ん中にあります。山に囲まれた、海がない県(内陸県)です。

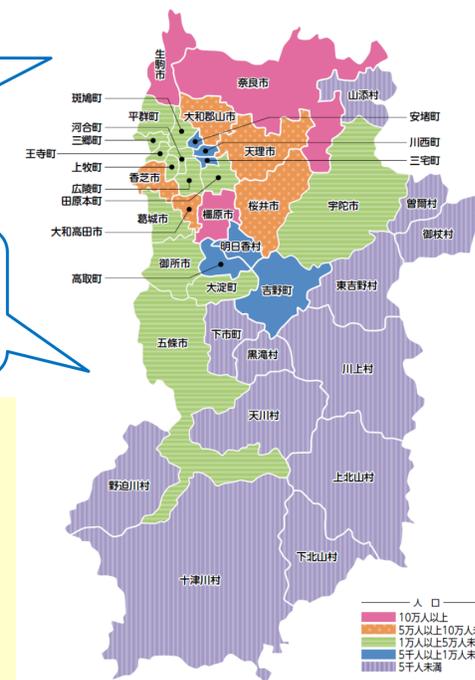
奈良県は、12の市・15の町・12の村(合計39の市町村)でできており、1887年に大阪から独立し誕生しました。

北部 内陸性気候

概ね雨は少なめ。
夏: 蒸し暑い。冬: 底冷えが厳しい。

南部 山岳性気候

夏: 雨が極めて多く、時には局地豪雨が起る。
冬: きびしい冬山の様相を呈し、積雪も深い。



資料: 県統計分析課「市町村別推計人口(令和元年10月1日現在)」

県の面積、人口

面積: 3690.94km²

人口: 1,312,139人

(令和4年2月1日現在)



県のシンボル

県章

県章は、奈良県を象徴するマークです。デザインは、奈良県の「ナ」(カタカナ)が由来になっています。



せんどくん

奈良県のマスコットキャラクター。好奇心旺盛な元気いっぱいの子。特技はダンス、奈良の美味しいものが好物。

県の木	県の花	県の鳥	県のさかな
スギ	奈良八重桜	こまどり	きんぎょ・あゆ・あまご

奈良県の地場産品、伝統工芸品は何か

○奈良県の地場産品

軽装履
昭和30年頃から下駄の販売が落ち込み、軽い装履が生産されるようになり、現在では奈良県産が国内で高い割合を占めています。

紳士靴
明治29年から奈良県で靴造りが始まり、大正から昭和にかけてビジネスシューズの需要増大とともに、奈良県の産業として成長しました。

毛皮
昭和20年代に、兎の皮を中心に毛皮生産が始まり、今ではミンク、キツネなどの毛皮を用いた様々な商品が作られています。

スポーツシューズ
スキー靴

鹿革
鹿革は、剣道の防具やメガネふきなどに使用されます。

靴下
明治40年代に現在の広陵町で靴下の生産が始まり、今では奈良県は靴下(ソックス、タイツなど)の一大産地として認められています。

箸
吉野杉を用いた最高級の杉箸は高い評価を得ています。

○奈良県の伝統工芸品(国指定)

高山茶筌 (生駒市)
室町時代に現在の形を初めて作ったといわれ、茶道の隆盛とともに茶筌作りが盛んとなり、その技術が代々伝承されてきました。

奈良筆 (奈良市)
僧空海が中国から筆の製法を持ち帰り、奈良で製造されるようになったのが始まりといわれています。

奈良墨 (奈良市)
興福寺二諦坊で持仏堂の灯明の煤を集め、これに膠を混ぜてつくったのが始まりといわれています。

奈良県の農産物は何かな

○奈良県の主な農産物

イチゴ
食味が良く栽培しやすい、県育成品種「アスカルビー」をはじめ、「古都華」などが栽培されています。

ナス
夏秋期の露地栽培と冬春期のハウス栽培が行われています。露地栽培での単位面積当たり収量は全国でもトップクラスです。

トマト
ハウスを利用した促成・半促成栽培と雨よけ夏秋栽培に大別されます。糖度の高い完熟系などの品種が導入されています。

カキ
※2020年のデータ
主な品種は「刀根早生」、「平核無」、「松本早生富有」、「富有」です。香港などにも輸出しています。

ウメ
市場出荷の他、加工業者向けにも出荷され、梅酒、梅ジュース、梅干し、梅エキス用などに加工されています。

ズドウ
主な品種は「デラウェア」、「巨峰」。また、近年、直売向けの品種で「シャインマスカット」の栽培が増えつつあります。

大和野菜
「大和の伝統野菜」(20品目)
戦前から生産されている品目で、地域の歴史・文化を受け継いだ独特の栽培方法等により、「味、香り、形態、来歴」などに特徴を持ちます。

「大和のこだわり野菜」(5品目)
栄養やおいしさを増した野菜、本県オリジナル野菜など。栽培や収穫出荷に手間をかけています。

大和茶
「大和茶」は、冷涼な気候の下で栽培され、良質な煎茶やかぶせ茶が生産されています。最近では食品加工用でん茶の需要増加に伴い、てん茶の生産量が増えています。

大和の伝統野菜

大和まな

大和のこだわり野菜

大和高原に広がる造成茶園。防霜扇が整備された緩傾斜地に緑の縞模様が目立つ独特の景観を形成しています。